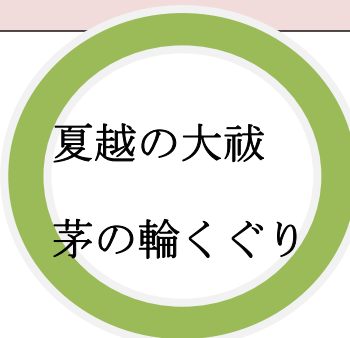


中原神社



夏越の大祓

茅の輪くぐり

news 北中津原新聞 paper

おらんたちの村

発行所 北中津原自治会

平成22年度 第3刊

残暑！・いや・まだまだ 猛暑！

それでも朝夕は少し 秋の気配も

六月三十日(水) 中原神社で半年間の罪穢れを祓い、夏を健康で過ごせるよう、夏越の大祓が行われました。

今年は、大きな茅の輪が掛けられ、官司につづいて、両中津原自治会長、宮元、そして、参詣のみなさん全員が茅の輪をくぐりました。まず、茅の輪の正面からくぐって左回り、次は、くぐって右回り、



茅の輪くぐりの様子

そしてもう一度、くぐって左回りに最初の位置にもどり、最後に、正面からくぐり拝殿前へと進みます。茅の輪くぐりは、善行をした蘇民将来(そみんしようにらい)が武塔神(素盞鳴尊・すさのおのみこと)から「もしも疫病が流行したら、茅の輪を腰につけると免れる」といわれ、そのとおりにしたところ、疫病から免れることが出来たという故事に基づいています。拾遺和歌集に「水無月の夏越の祓へする人は 千歳の命延ぶというなり」という歌があり、この古歌を唱えながら茅の輪をくぐるようです。

おらんたちの村のあの人・この人

活動、特技など多彩な「おらんたちの村のあの人・この人」を紹介したいと思います。今回は、8年程前から始め、新聞にも何度も作品が紹介されている、おらんたちの村の川柳作家伊藤正則さんです。

正則さんは、8年程前から、川柳を詠み始め、新聞に投稿しています。一枚のはがきに3作品を書いて十通ほど送ったとき、はじめて新聞に掲載されたそうです。それ以来、いなべ川柳会の一人として、何度も紙面に紹介されています。現在も、ふと感じたことなどを思いつくまま、川柳に詠んで投稿して

このコーナーでは、みなさんがご存知のことの紹介になるかもしれませんが、趣味や、

います。最近、紙面に載るのがへつてきたなあ とのことでした。川柳には季語を入れるなどのきまりはないので、みなさんも、いろいろな出来事や、感じたことを、詠まれてみてはいかがでしょう。ここで、北中津原新聞掲載の為に詠んでもらった作品を紹介します。

- 上を見ていると 踏く石が有る
- 豊凶を占う文化 粥試し
- 盛衰の歴史知って 村の巨樹
- 本当のブランド 百寿でも元氣
- 程程と言う事 知らぬ蟬しぐれ
- 団塊が主役で 挑む村おこし
- クラス会顔に 生き様書いて来る
- 年金が孫と 絆を強くする

伊藤正則 作

山郷小学校 夏休み こども作品展

山郷小学校では、夏休みにがんばって作った子どもたちの作品を展示します。保護者の方だけでなく、地域のみなさんにも見ていただけるよう御案内いたします。

- 開催期間
九月七日(火)から
九日(木)まで
- 午前9時～
午後6時30分
- 展示会場
山郷小学校体育館

※お知らせ※

- 松茸山競売
九月十一日(土)
午後七時三十分
- 中原神社祭祀
九月十九日(日)
慰霊祭
午前九時
合祀記念祭
午前十時三十分
- 山郷小学校運動会
九月二十五日(土)
- 北勢中学校体育祭
九月十八日(土)

記憶をたどって再現 中津原虫送り

虫送りは、江戸時代から行われていたと言われ、ウンカなど稲の害虫を駆除したり、イモチ病など当時は 悪霊によるものと思われていたので、この悪霊を祓うために行われた行事です。

中津原では 60年前に行われたのが最後とのことですが、近年虫送りを復活させてはどうか、当時を知っている人も少なくなってきた。こんな声が聞かれるようになり、

田んぼの中を進む虫送り



虫送り 60年ぶりの再現となりました。

中原神社でお祓いを受け、地区の年配の方から、中津原子供の小学生もいっしょに、鉦、太鼓のたたきかたを教えてもらい、いよいよ、いまつに火を着けます。

夏の暑さに、炎の暑さが加わり大変ですが、子どもたちにとっても初めてのことで、楽しそうにみえました。

提灯を持った自治会長、副自治会長を先頭に、あたりが薄暮から夕闇へと移るなか、松明の灯りと、鉦、笛、太鼓が地区の田んぼを進みます。みんなの “いもち・いもち・出てかな、焼いてくぞ！” それ！” という掛け声がひびきわたりました。 中日新聞の北勢版に “虫送り 記憶たどり60年ぶりの再現” と 準備のたいまつ作りを、写真入りで掲載しても

いよいよ松明に火を着けます



らったので、多くの方から “すごいことしとるなあ！” と連絡をもらったり、当日は、「四日市から新聞を見て来ました。」という御夫婦もみえたようです。たくさんの方に参加してもらいました。

あたらしい事を進めるには、大変な苦労と力があるものです。年配の方を中心に進めてもらった今回の “虫送り60年ぶり再現” あらためて、自治会の力を感じていただけたと思います。

墓掃除 ご苦労さまでした

八月一日(日)今年も例年通り墓掃除をおこないました。早朝からですが、かなり暑かったです。いつも お供えの花を取り換えたあとの古い花の処分にご苦労していただきました。今年は各自で持ち帰り自宅で処分してもらうように自治会長からお願いの立て札があり、きれいでした。これからも、きれいなままで願います。

北勢町内 一斉清掃デー 道路わき、橋の下などを 点検！

八月一日(日)北勢町内一斉清掃デーに合わせて、自治会役員で不法投棄された廃品、ごみ等を回収しました。

道路わきの空き缶やビニールごみなど、車から投げ捨てられたと思われるものが多くありました。特に注意しなければいけないのが、小穴谷川に架かる県道の橋の下。テレビ、ソファ、じゅうたん、タイヤなど車の窓からの投げ捨てではない、計画的な不法投棄と思われるものが

※ 上の墓地に、門柱があります。次回の紙面でこの門柱についての記事を掲載しようと考えています。



ありました。自治会として対策を考える必要があると思います。自治会から 不法投棄をなくそう！ みなさまのご協力を！



回収作業の様子(小穴谷口)

中津原虫送り 記憶たどり60年ぶり再現!

七月二十三日(土) 中日新聞 朝刊 北勢版で紹介された
中津原虫送り「記憶たどり60年ぶり再現」の記事と当日の様子を掲載します

中 旬 2010年(平成22年)7月23日(金曜日) 北勢 16



公害の経験を教育に

記憶をたどりながら作業を進める氏たち。いなべ市北勢町北中津原

いなべ地区 あす虫送り

北勢版

ご存知ですか!!
ギヤバロン茶
三重県四日市市水沢町6-10
0120-000004
有萩村製茶

記憶たどり60年ぶり再現

いなべ市北勢町中津原地区の年配男性たちが、六十年ぶりの虫送り実現に向けて準備を進めている。地元の中原神社の氏子を務める九人だ。当時を覚えているのは、七十年代後半のメンバー数人。二十四日の本番を前に、「自分たちももう一度見たいし、子どもたちにも見せたい」と意気込んでいる。
(小林迪子)

長さ三メートルほどの竹を、もいなくなり、本虫に縦に割き、中に表わら 途絶えしまし」と、を語って先端には杉の 再現の話が盛り上がり、葉を混ぜる。竹で挟む。 ようにしてわらで数カ所へくると完成。「虫えらもん」と二十送りのたいまつは、代の中村さんだが言地域によって作り方が、えは「わらやうて違っただわね。初めて 青年団の下っ端で、よ作ったけど、だいたい慣う手伝いさせてもらえられたよ。メンバーの んかった」と伊藤貴一 中村勘吉さん(まご)は笑。 会長が紋付きはかまで、たいまつを指さし、青行列の先頭におった々とした田んぼのあせな」と中村与左衛門さ道歩き、虫や力を駆ん(へ)も助っ人に入除する虫送り。この地。 域でも、長く続いた。 当日は地元の子どもが、戦前に途切れた。 会が参加する予定で、伝統的な地域の虫送 たいまつを七本用意りを次の世代に残そう と、一九五〇(昭和二 作りしながら、六十年 十五年に一度復活し ぶりの景色を楽しみに たが、それっきり。 している。

先月末には、県内の 小学校教諭が公害学習 の意見交換会も開いて
黒宮君が活躍誓う
サッカー木曾町町長訪問



虫送りの話を聞きました



年配の方に作ってもらったたいまつ



境内でお祓いを受けます



あたりが暗くなってきました



暑さの中少し疲れてきましたか!?



鉦・笛・太鼓が響きます